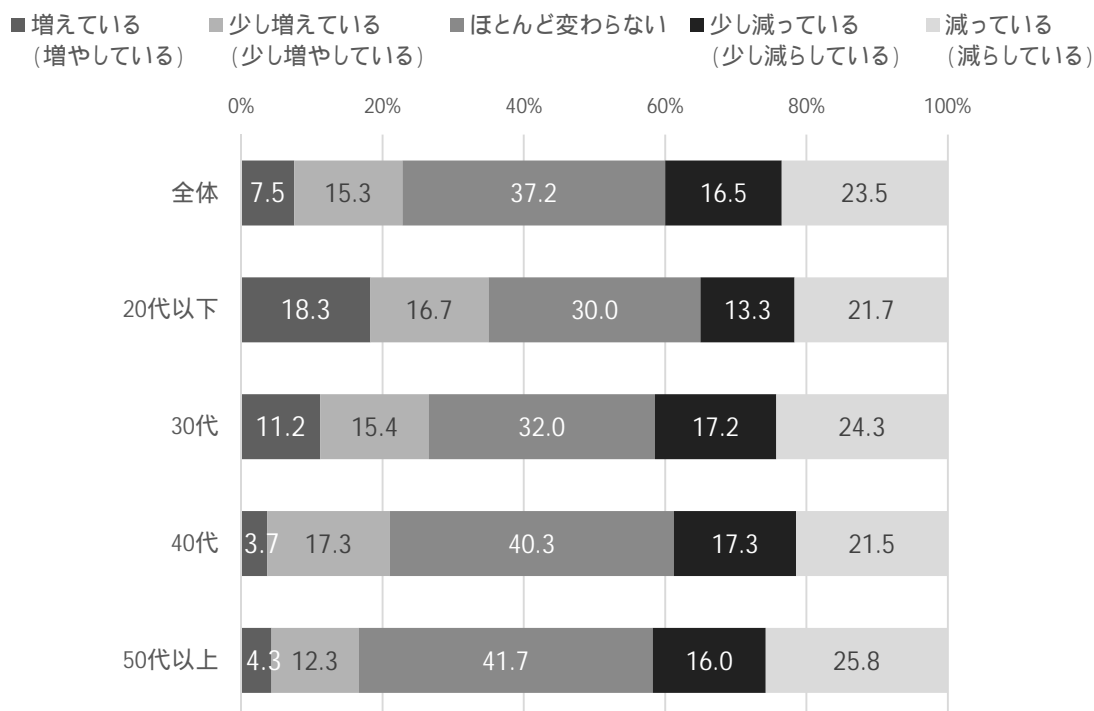


5年前と比べ、自由に使えるお金は 増えていますか？減っていますか？



岡山県民の消費スタイルはこの5年間で変わったのでしょうか？世界経済や国際情勢は刻々と変化しており、私たちはその影響を受けながら生活しています。エネルギーや発電に関する状況は様変わりし、円安は進行、消費税増税や社会保障費用の増加、物価の上昇など、挙げればきりがありません。消費スタイルにとどまらず、生活意識や価値観にまで影響していそうです。弊社アンケートモニターの皆さんにお金の使い方の変化について質問してみたところ、自由に使えるお金(可処分所得)が5年前に比べ「増えている(増やしている)」「少し増えている(少し増やしている)」と回答した人は22.8%、「減っている(減らしている)」「少し減っている(少し減らしている)」と回答した人は40%で、減った人のほうが17.2ポイント多いという結果となりました。他県の皆さんはどうなのでしょう？

【調査概要】

調査時期：2015年7月24日(金)～7月31日(金)

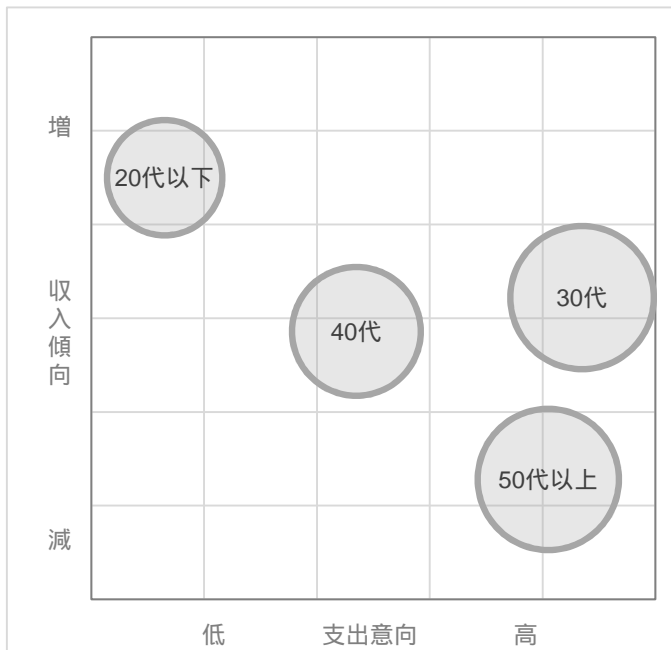
調査対象：岡山県在住の男女583名

調査方法：インターネット調査 男性31.9%、女性68.1%

20以下10.3%、30代29.0%、40代32.8%、50代以上28.0%

岡山市53.3%、倉敷市22.5%、その他県内24.2%

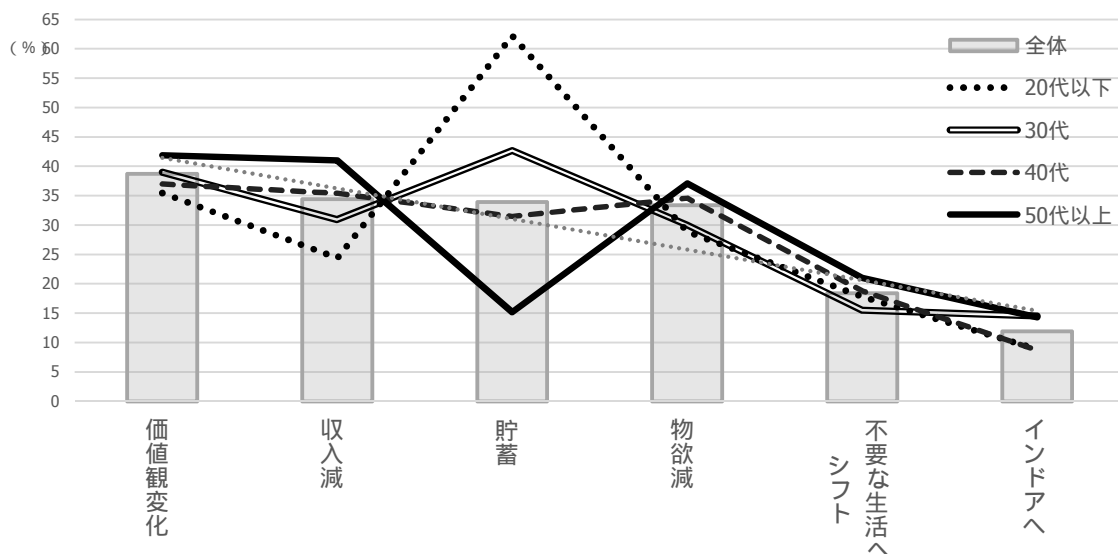
収入傾向と支出意向



5年前と比べたときの現在の収入傾向と支出意向を年代別にみると、その変化の状況は年代によって大きく異なります。

20代は「収入は増える傾向にあるものの消費意欲は薄く、お金を使わない」、50代以上は20代の対極にあり「収入は減る傾向にあるが、消費意欲は強く、お金を使う」といった様子が見られます。

Q.5年前に比べ、あまりお金は使わなくなった理由は何ですか？(いくつでも)



お金を使わなくなった理由として「価値観の変化」「収入の減少」「貯蓄」「物欲の減少」の4つがほぼ同割合で並びました。年代による差があまり見られないのは「価値観の変化」、対して差が大きいのは「貯蓄」で、20代の貯蓄意向が非常に高くなっています。

この件に関するお問い合わせ先

協同組合岡山情報文化研究所 / 原内 〒700-0824 岡山市北区内山下 1-3-7 県土連ビル 1F
 電話 086-225-8181 <http://www.vis-a-vis.co.jp/archives/data/contact/>